

〇コロナ禍で伝える 我らがまちの誇りと伝統

去る9月4日(日)未明、「二番觸」をつたえる煙火2発目と同時に遠州見付宿の全戸と街灯の消灯が行われ、ついに3年ぶりに矢奈比賣命のおわたりが行われました。明けて夕刻から行われた神輿還御では、3年ぶりの拝殿前の御霊振りを目の当たりにし、涙する氏子もいたと伝え聞いております。

新型コロナウイルスの感染が広まって以来、初めての祭礼挙行にあって、参加者の事前登録・健康管理、諸行事における参列人数の限定、裸祭のマスク着用と「練り」や「擦れ合い」を我慢しながらの参加、といういくつもの異例の事態を経験することとなりました。おかげさまをもちまして、御大祭から1ヶ月を経過した現時点でも、見付地区内において、祭礼参加者の中に感染者がいた、あるいは新型コロナウイルス感染が拡大したという情報を聞いておりません。これも祭礼の関係者・参加者をはじめ、全ての氏子の方に、異例事態の状況をご理解いただき、祭礼の挙行にあたって並々ならぬご協力を頂戴したからにほかならないと考えております。

「見付天神裸祭」が、単に国が指定する重要無形民俗文化財だからではなく、我らが見付の誇り、そして伝統として、これからも永く後世に継承していくためには、今年の振り返りは欠かせませんし、今後の継承のあり方については、多くの皆様のご意見に真摯に耳を傾けていく必要があります。今年は、新型コロナウイルスのような感染症拡大があっても、ある程度工夫を凝らして祭礼を行えることを証明した年でもありましたが、同時に、工夫を凝らして感染対策を行ったその先に、どうやって平時の祭礼、本来の祭礼のあるべき姿に戻していくのか、という大きな問題に新たに直面しました。これからの1年は、まさにこうした大きな課題を解決していく1年になるのではないかと思う次第です。見付の住民の皆様におかれましては、引き続きご理解ご指導をよろしくお願い申し上げます。



3年ぶり 神輿渡御

磐田・見付天神

「霊振り」で裸祭終幕

磐田市見付の矢奈比賣神社(見付天神)の国指定重要無形民俗文化財「見付天神裸祭」の御大祭が4日、営まれた。神輿(みこ)が見付地区内を巡る渡御、還御を3年ぶり

に再臨。夜には同神社に神輿が戻り、神輿を本殿に還す「霊振り」を行って8日間続いた裸祭を締めくくった。

神輿渡御、還御は新型コロナウイルス感染防止に配慮し、担ぎ手の人数を減らした。同日未明、地区内の明かりを消し、神輿が真つ暗闇の中、同神社から淡海国玉神社までの約300mを進む渡御「お渡り」を行った。夕方からの還御では、神輿などの行列が約3時間かけて地区内を練り歩き、矢奈比賣神社に戻った。

「霊振り」では、担ぎ手や地区内各町の関係者が「ヨインヨインヨイン」の掛け声に合わせて、拝殿前で神輿やちよちんを威勢良く上下させた。祭りの見どころの一つで、上半裸で腰みの姿の男祭が激しくもみ合う主要行事「鬼踊り」の実施は見送った。

「見付天神裸祭」の通称が宮まれ、矢奈比賣神社の拝殿前では、神輿やちよちんを上させる「霊振り」が行われた。磐田市見付(浜松局・二神芝)

3年ぶりの神輿渡御・還御を伝える新聞記事

(令和4年9月5日付け静岡新聞朝刊)

【城山中学校一よつばプロジェクト】

城山中1年生が“すがりの藁”づくりを体験しました

今年の裸祭直前の9月1日(木)13:00から城山中学校において1年生の総合学習の中で“すがりの藁”作りを行いました。1年生272名が体育館で一斉に、見付天神崇敬者会役員と保存会有志20名の指導の下、藁を用いて、手作業で作成しました。“すがりの藁”は、腰蓑を少し小さくしたもので、各家庭で縁起物の置物にしてもらおうと作ってもらいました。以前は腰蓑を実際作成していましたが、すがりの藁にすれば生徒全員が家庭に飾ってもらえるとのこともあり、崇敬者会が藁の確保から、当日の作成指導まで入念に計画し、この時間を迎えることができました。本物の藁を用いた細工でとても盛り上がった学習になりました。見事に整形されたすがりの藁があり、崇敬者会・保存会でその作品の作者を表彰しました。



【城山中学校一よつばプロジェクト】 (令和4年度ガイドブックから再掲)

城山中1年生が見付天神裸祭スローガンを作成しました

城山中学校1年生 272名に裸祭の今年のスローガンを作ってもらいました。1学年の先生方と保存会で3つの作品を選ばせてもらい、ここに表彰したいと思います。新型コロナ禍の中、裸祭の伝承に苦戦している保存会を励ますスローガンが多かったこと、保存会としてうれしく思い、中学生の応援をもらったことで、この素晴らしい裸祭を保存伝承していこうと決意を新たにさせてもらいました。

最優秀賞	・受け継ぐ伝統 誇りを胸に 永遠に続け!!!	治下 咲穂 (元天神)
優秀賞	・伝統つなぐ 2年分の思いをここに	須山かのん (大久保：学区外)
優良賞	・轟けこの声!! 今つなぐ 歴史のバトン	稲葉 柏空 (富士見1)

【城山中学校一よつばプロジェクト】 (令和4年度ガイドブックから一部再掲)

城山中1年生が国の重要無形民俗文化財「見付天神裸祭」を学びました

令和4年6月22日に城山中学校体育館にて1年生全員272名が「見付天神裸祭」を学ぶ会に参加しました。保存会から前保存会長、保存会長、事務局長が出向き、プレゼンをしながらの学習会になりました。保存会から中学生に7つの質問をしました。(1)なぜ裸なの。なぜ腰蓑姿なの。(2)どこでやるの。(3)矢奈比売様はどこにいるの。しっぺいは関係あるの。(4)なぜ真っ暗にするの。(5)男だけの祭りですか。(6)なぜ「栗餅(あわもち)」なの。(7)裸祭はどうして「国の重要無形民俗文化財」なの。中学生から手を挙げて答える姿が見られました。中学生として一生懸命考えて答えようとする姿勢が見られ、保存会としては大変頼もしく、有難いことと思いました。

「なぜ裸なの。」という質問に「いい身体しているところを見せたいと思うから。」と答えた男子生徒もありました。最後に1年生を代表して梅屋町の青島君がお礼の挨拶をしてくれました。彼は毎年、梅社の子供連から裸祭に出てくれている「祭り好き」です。



○今後の予定

- 11月13日(日) 実行部会・青年部会 (19:00~) @見付交流センター
- 11月15日(火) 自治会地区会 (19:00~) @見付交流センター
- 11月27日(日) 理事会 (19:00~) @見付天神つつじ館
- 1月8日(日) 事務局会 (17:00~) @幸町会館
- 2月26日(日) 事務局会 (19:00~) @見付天神つつじ館
- 3月12日(日) 実行部会 (19:00~) @見付交流センター
- 青年部会 (19:00~) ※場所は別途調整

※各祭組の令和5年度警固長・青年部員名簿については、2月28日(火)までに令和4年度警固長を通じて事務局までご報告ください。(例年通りインターネットのフォームを使用することを考えています。詳細は後日関係者に周知します。)